

平成24年度千葉県公立小・中・高等学校の暴力行為の概要 平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は2, 887件で、前年度の3, 083件より196件減少。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は546件で、前年度の539件より7件増加している。

中学校における発生件数は2, 056件で、前年度の2, 245件より189件減少している。

高等学校における発生件数は285件で、前年度の299件より14件減少している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は80件で、前年度の83件より3件減少している。中学校における発生件数は212件で、前年度の258件より46件減少している。高等学校における発生件数は20件で、前年度の21件より1件減少している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は376件で、前年度の341件より35件増加している。中学校における発生件数は1, 196件で、前年度の1, 216件より20件減少している。高等学校における発生件数は174件で、前年度の177件より3件減少している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は4件で、前年度の17件より13件減少している。中学校における発生件数は73件で、前年度の57件より16件増加している。高等学校における発生件数は8件で、前年度の17件より9件減少している。

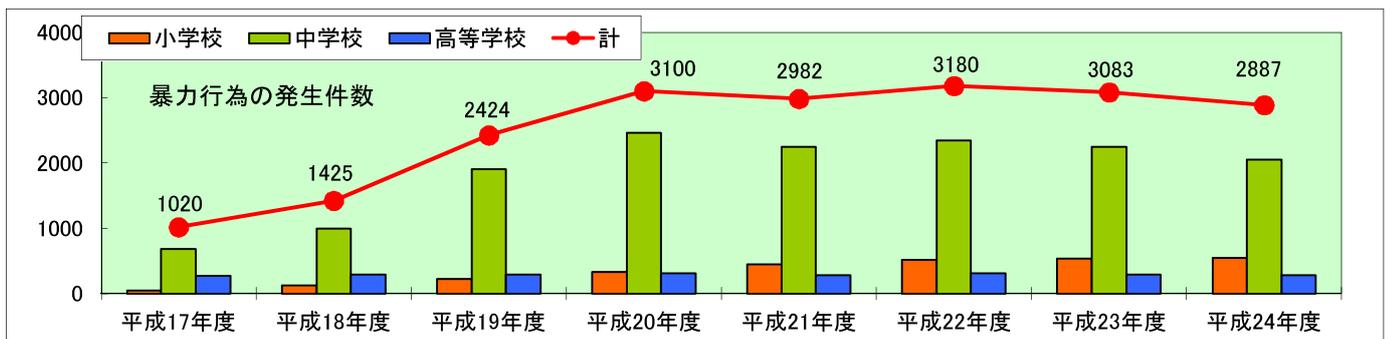
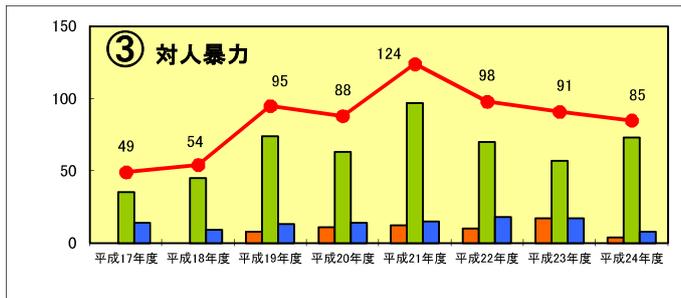
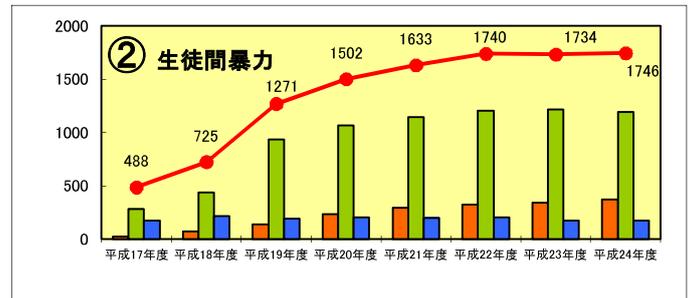
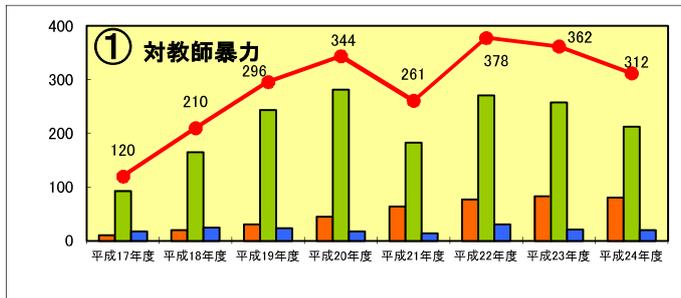
(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は86件で、前年度の98件より12件減少している。中学校における発生件数は575件で、前年度の714件より139件減少している。高等学校における発生件数は83件で、前年度の84件より1件減少している。

暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成17年度	小学校	10		24	4			16	54	1020
	中学校	89	3	247	37		35	279	690	
	高等学校	18		153	23		14	68	276	
平成18年度	小学校	20		63	8			37	128	1425
	中学校	165		370	69	2	43	349	998	
	高等学校	25		193	22		9	50	299	
平成19年度	小学校	29	1	132	9	6	2	46	225	2424
	中学校	243		834	104	9	65	652	1907	
	高等学校	23		172	20		13	64	292	
平成20年度	小学校	45		199	35	4	7	40	330	3100
	中学校	279	2	969	96	10	53	1051	2460	
	高等学校	18		184	19	2	12	75	310	
平成21年度	小学校	64		278	15	11	1	86	455	2982
	中学校	183		1006	137	23	74	821	2244	
	高等学校	14		177	20		15	57	283	
平成22年度	小学校	75	2	317	8	7	3	109	521	3180
	中学校	271		1063	144	14	56	801	2349	
	高等学校	30		179	29		18	54	310	
平成23年度	小学校	83		317	24	15	2	98	539	3083
	中学校	244	14	1088	128	9	48	714	2245	
	高等学校	21		154	23		17	84	299	
平成24年度	小学校	80		353	23	2	2	86	546	2887
	中学校	211	1	1048	148	8	65	575	2056	
	高等学校	20		152	22		8	83	285	



※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。